



### 幕末外交の葉

(四) 早川 成治

七月 英艦四隻長崎に入る。ステイ  
 ング来る。同所奉行に雲を  
 呈し、尋問と戦ふに付日本諸港  
 に船を繋ぐ事あるべき旨を云  
 ふ。  
 八月 廿三日、英人と條約を結び長  
 崎、函館二港を開く。廿九日英艦  
 長崎を去る。  
 九月 十八日、魯艦大阪に入る。ブ  
 チヤン来る。十月三日去る。  
 十月 八日、講武所を建てる旨送  
 り。地所敷ケ所なり。後築地  
 のみ成る。丙辰四月より開き  
 庚申正月小川町に移し築地を  
 海軍操練所となす。  
 十一月 蘭人に下田砲台築船  
 を許す。  
 十二月 廿三日、勅して梵鐘を以て大  
 砲となさしむ。翌年三月三日  
 其旨達あり然れども終に行は  
 れず。  
 此年魯人英佛土の三國と戦ひ  
 西洋大に亂る  
 安政二年乙卯(一八五五年)  
 三月 四日、佛船一隻下田に來り七  
 日去る。十一日又來り魯人居  
 るや否やを問ふ。  
 十八日、廿二日、廿三日三度  
 に佛船三隻長崎に來り魯と戰  
 ふに付遂に船を泊せし事。  
 且つ薪水を給する事を請ふ。  
 廿七日、米船二隻下田に來り  
 日本海測量を請ふ。  
 四月 十日、米人に測量願は遣て命  
 ずる所あるべき旨を命ず。十  
 三日米船去り東北海の測量を  
 命ず。  
 六月 八日、蘭人長崎にて蒸氣船並  
 に小銃を献す。


七月 十日、此日より十六日迄に英  
 船七隻長崎に來る。九月十日  
 迄に追次来る。魯國より使さ  
 れたる地あらば之を日本に返  
 さんとて國境を問ふと云ふ。  
 八月 十三日、魯英米と條約を結び  
 たる旨、並に米人測量願は不  
 許の旨送あり。  
 十月 二日、江戸の地大震死者夥し  
 水戸藩戸田忠太夫、藤田誠之  
 進死す。  
 十一月 十六日、諸事簡易の制に復し  
 服制省弊、火事裝束華美諸有  
 司伊達道具傘立傘方石以下長  
 袴袴箱を禁する等の達あり。  
 十九日、部門番士省界諸侯從  
 者減省等達あり。  
 廿二日、米船一隻下田に來る  
 測量願は軍船を以て答を聞く  
 旨を云ふと云ふ。  
 十一月 七日、金銀を諸道具に用ふる  
 を禁する旨送あり。

盡無 貯蓄 趣味 啓蒙  
 金融 簡易 城市 啓蒙  
 出張所 縣内各町

牛豚  
 平市田町  
 三三三屋  
 電話三三三番

電話開設  
 四倉局下 電話二十九番を  
 開設致しました  
 松本海産物店  
 四倉町

銃後の商家計費引下に  
 一日のサリズネを  
 先利用下さい  
 平子ケド  
 電話五〇五番



体位向上の夏  
 新舞子や四倉の海は招く  
 海岸行は快適な木炭バス  
 今年に更に増車致しました  
 平子四倉 往復券二割引四十銭  
 (団体は特に御相談に應じます)  
 御案内 自動車停留所からの道程  
 ★ピクニック、船遊びには日本百景  
 新舞子、仁井田浦へ……約二丁  
 ★海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁  
 ★波立薬師、鰐ヶ淵海岸へ……約八丁  
 平市 四丁目  
 合名 平四倉乗合自動車  
 電話五九四番

二百年の歴史を有する  
 家傳靈藥 消食散  
 相馬ハンサキ  
 (一名かげの薬)  
 丸龜商店  
 平市大町 電話一三三番  
 代理店

盆の御用意!!  
 ◎故人の靈を祀るお盆が近づきました  
 ◎祖先崇拝は家庭繁榮の礎  
 佛壇、塗位牌、佛金具類等を豊富  
 に取揃へました  
 ◎値段ばかり安くても品質が粗末では勉強であり  
 ません。安いだけでも店はハヤリマセン  
 盆の御用意は是非當店又は各支店へ  
 平市四丁目(郵便局向ひ通)  
 山光堂 佛具問屋  
 造花 電話五五〇番  
 石城郡四倉本町  
 支店 博善社

祖先の靈を迎へる  
 御盆が参りました  
 佛壇・塗位牌・佛具類一式取揃へました  
 是非御来店下さい  
 平市一丁目  
 和久井屋商店  
 電話四〇五番

亡父千代吉新盆に相當り候處甚だ勝  
 手間敷候得共時局柄提灯其他供物の  
 儀一切御辭退申上候間不惡御諒承願  
 上候  
 昭和十五年八月  
 平市田町  
 鈴木 信雄

亡父鈴木光吉新盆に相當り候處  
 提灯其他供物の儀は時節柄一切御辭  
 退申上度不惡御諒承願上候  
 昭和十五年八月  
 平市 鈴木 田町  
 鈴木 定光

謹啓 亡母菊池普久新盆に相當  
 り候處提灯其他供物等の儀は時  
 局柄一切御辭退申上度不惡御諒  
 承願上候  
 昭和十五年八月十日  
 福島縣四倉町驛通り  
 菊池 高位  
 (舊姓木村)

謹啓 濟生院潤德厚仁大居士の  
 新盆に相當り候處時局に鑑み乍  
 勝手提灯其他の供物等御贈與の  
 儀固く御辭退申上候  
 尚萬一御届け被下候ども乍失禮御受け致兼候  
 に付右不惡御諒承願上候  
 昭和十五年八月五日  
 四倉町字新町  
 額賀 誠

内臓外科  
 整形外科  
 レントゲン科  
 松村外科  
 醫學博士 松村 亨  
 平市南町 松村醫院外科部

耳鼻咽喉科  
 大和田醫院  
 平市南町(電話一〇七番)  
 入院自炊  
 の便あり